

教育委員会定例会会議録

1 日時

平成30年4月18日（水）

開会 13時30分

閉会 14時18分

2 場所

教育委員室

3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員 廣田恵子教育長、森脇健夫委員、岩崎恭典委員、黒田美和委員、
原田佳子委員

欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 廣田恵子（再掲）

副教育長 木平芳定、次長（教職員担当） 梅村和弘、

次長（学校教育担当）宮路正弘、次長（育成支援・社会教育担当）森下宏也、

次長（研修担当） 山本嘉

教育総務課 課長 榎屋眞

高校教育課 課長 徳田嘉美、班長 萬井洋、主幹 北出基之、

充指導主事 仲尾綾子、充指導主事 稲濱章誠

特別支援教育課 課長 森井博之、課長補佐兼班長 赤尾時寛、

充指導主事 遠藤純子

生徒指導課 課長 山口香

子ども安全対策監 小林宏行

保健体育課 課長 野垣内靖、充指導主事 増田和史

小中学校教育課 課長 野口宏志、充指導主事 大池和豊、

充指導主事 村田憲彦

社会教育・文化財保護課 課長 山本寛二、班長 小濱学、主任 亀井勇希

環境生活部文化振興課 課長 辻上浩司

総合博物館 副館長 寺本久彦

5 議案件名及び採択の結果

		審議結果
議案第 1号	三重県地方産業教育審議会委員の任免について	原案可決
議案第 2号	平成30年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について	原案可決
議案第 3号	三重県総合博物館協議会委員の任命について	原案可決
議案第 4号	三重県天然記念物紀州犬審査会審査員の任命に	原案可決

議案第 5号 三重県天然記念物日本鶏審査会審査員の任命に 原案可決
ついて
ついて

6 報告題件名

- 報告 1 平成31年度三重県立四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者
選抜実施要項について
- 報告 2 平成30年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入
学者選考の概要について
- 報告 3 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について
- 報告 4 平成29年度全国高等学校選抜大会等の結果について

7 審議の概要

・開会宣言

廣田教育長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により、会議が成立したことを確認する。

・前回審議事項（3月23日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・議事録署名者の指名

黒田委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第1号から議案第5号は人事に関する案件であるため非公開で審議すること
を決定する。

会議の進行は、公開の報告1から報告4の報告を受けた後、非公開の議案第1号か
ら議案第5号を審議することを決定する。

・審議事項

報告1 平成31年度三重県立四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜実
施要項について （公開）

（徳田高校教育課長説明）

報告1 平成31年度三重県立四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選
抜実施要項について

平成31年度三重県立四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜実施要
項について、別紙のとおり報告する。平成30年4月18日提出 三重県教育委員会
事務局 高校教育課長。

今回、報告いたします実施要項は、四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜に係る事務手続き等について規定したものであり、この実施要項にのっとり、選抜及び選考の事務を行います。

1 ページ「**1** 募集」(1) 応募資格をご覧ください。9月に実施する特別選抜は、志願することのできる者を、アのとおり、県内高等学校の工業に関する学科を平成31年3月卒業見込みの者で、合格した場合、入学を確約できる者とします。11月に実施する一般選抜は、イの一般選抜(ア)から(ウ)にありますように、志願することのできる者を、高等学校もしくは中等教育学校の卒業者又は平成31年3月卒業見込みの者とし、学科については限定しないこととしています。

(2) 入学定員をご覧ください。入学定員は、機械コース、電気コース各10人程度の合計20人とします。

(3) 募集方法をご覧ください。特別選抜の受付期間は、9月3日から9月7日、一般選抜は10月29日から11月2日とします。

2 ページ「**2** 検査、選抜及び合格者の発表」をご覧ください。特別選抜は、9月14日に作文及び面接を実施し、9月21日に合否通知書を出身高等学校長に通知します。一般選抜は、11月9日に機械または電気に関する学力検査、面接及び実技検査を実施し、11月16日に四日市工業高等学校において、合格者の受検番号を掲示し、合格者の発表をします。

以上で、四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科入学者選抜実施要項についての報告を終わります。

【質疑】

教育長

報告1については、いかがでしょうか。

森脇委員

入学を確約できるという言い方ですが、例えば、入学しますと言って、その約束が守れない場合にはどうなるのでしょうか。

高校教育課長

特別選抜は、一応、選抜の趣旨からして、入学するというところで、確約といいますか、そういう意図で出願をしていただいていると考えておりますので、特に後になって辞退するということの想定はしてないです。

宮路次長

補足で。一般の高校入試の前期選抜も同じようなことをさせてもらってます。これは、前期の場合は倍率が高いとか目的意識がはっきりしている子を対象としているということでやっておりますが、この場合も、ただ、それを辞退することがあったときに、何とかするということは、実質はできないことになります。

ただ、大学進学とか専門学校と併願ということではなくて、ここを専願で出してもらおうというような趣旨でこういう決まりを設けておるということでございます。

森脇委員

受付期間が9月なので、その後、事情が変わってとか、あるいは体調を崩してとか

いろいろな事柄で、もしかしたら入学辞退ということもあり得るかなと思っただけですが、その時点で確約できたらいいいということですね。わかりました。

原田委員

再確認といえますか、実際、この4月からこの学校へ通っている生徒さんに関しては、募集定員何人に対して、今、何人でスタートしているのかということと、であれば、その実績を踏まえて、昨年と募集要綱、何か改革をしたようなことがあれば教えてください。

高校教育課長

昨年度におきましては、特別選抜で4名受検して4名合格をしております。一般選抜におきましては、2名受検して2名の合格でございました。再募集を昨年度は行いまして、その合格者が5名おりました、全員合格ということで、現在、入学をしておられる者は11名、機械コースで6名、電気コースで5名という状況でございます。

昨年度は再募集も実施してということではありましたが、今年度につきましては、特に選抜の日程あるいは方法等については、昨年度と同様の形で考えておりますが、昨年度の反省といたしまして、中学生や高校生に、中学生はすぐの選抜ではないんですが、高校生に対しても、専攻科の魅力を十分に発信できなかったということも、一つ、要素として考えられますので、高校のほうにも十分なPRを行って行って、高校生にもその魅力を伝えられるようにしてまいりたいと考えております。

教育長

ほかにはいかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する—

・審議事項

報告2 平成30年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について (公開)

(徳田高校教育課長説明)

報告2 平成30年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について

平成30年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について、別紙のとおり報告する。平成30年4月18日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長 特別支援教育課長。

1 ページ1の(1)前期選抜等をご覧ください。前期選抜は、2月8日・9日に、全日制課程49校116学科・コース、定時制課程5校12学科、通信制課程1校1学科で、学科・コースの特色に応じた検査により実施しました。実施コース、学科・コース数は、全ての課程で前年度と同じでした。全日制課程の志願者数は、募集人数3,860人に対して、前年度より214人少ない8,523人でした。志願倍率は前年度より0.06ポイント低い2.21倍で、合格内定者は4,153人でした。定時制課程及び通信制課程については、ご覧のとおりです。

(2) 連携型中高一貫教育に係る選抜については、前年度同様、全日制課程2校2

学科で実施しました。23人が志願し、23人全員が合格内定となりました。

(3) 特別選抜は、高等学校を中途退学した者など、既に中学校を卒業した者を対象としています。全日制課程は1校、あけぼの学園高等学校で実施し、募集人数4人に対して、3人が志願し、3人とも合格内定となりました。定時制課程は、5校12学科で実施し、募集人数48人に対して21人が志願し、9人が合格内定となりました。

次に、後期選抜です。3月12日に学力検査を実施し、3月19日に合格者の発表を行いました。全日制課程では募集人数8,059人に対して、8,966人の志願があり、志願倍率は前年度より0.02ポイント低い1.11倍でした。定時制課程では、募集人数594人に対して、志願者数は222人でした。志願倍率は0.37倍で、前年度を0.08ポイント上回りました。通信制課程は募集人数425人に対して、志願者数35人、志願倍率は0.08倍で、前年度を0.02ポイント上回りました。

(2) 合格者の状況については、ご覧のとおりです。なお、※印にあります秋期入学者選抜については、北星高等学校で9月に実施いたします。

次に、資料の2ページの「3 再募集・追加募集」をご覧ください。再募集は、前期選抜・後期選抜の合格者数が入学定員に満たない学校において実施するものです。平成30年度選抜では、全日制課程20校37学科・コース、定時制課程11校16学科、通信制課程2校2学科で実施しました。募集定員、志願者数、合格者数はご覧のとおりです。

(2) 追加募集は、再募集においても入学定員に満たない夜間定時制課程の高等学校で行われるもので、夜間定時制課程11校12学科で実施しました。

最後に、合格者総数は、全日制課程が11,972人、定時制課程が373人、通信制課程62人でした。

以上で、平成30年度三重県立高等学校入学者選抜の概要についての報告を終わります。

(森井特別支援教育課長説明)

引き続きまして、平成30年度三重県立特別支援学校入学者選考の概要について報告させていただきます。

資料の説明の前に、特別支援学校の入学者選考の制度についてご説明させていただきます。県立高等学校では入学定員を設定し、受検者の中から、ある基準に従って合格者を選ぶという選抜を実施しております。

一方、県立特別支援学校高等部では、選抜ではなく選考を実施しております。選考を希望する生徒、保護者には、該当する特別支援学校を1月末日までに見学いただき、個別に教育相談を受けてもらうこととしています。これは、特別支援学校の教育内容等を十分にご理解いただき、障がいの状況を踏まえて特別支援学校で学ぶことをイメージしていただくためです。そのうえで、受検時には事前に聴き取った内容に配慮した諸検査及び面接を行い、入学者を決定しますので、結果として特別支援学校高等部の選考に不合格はございません。

それでは、資料3ページをご覧ください。まず、2月9日に実施した選考につきま

して報告いたします。県立高等学校の前期選抜に合わせて実施しました。特別支援学校17校の合計として、267名が受検し、267名全員を合格としました。内訳は、特別支援学校中学部からが110名、市町等の中学校からが157名でした。各学校の状況につきましては、資料にお示ししたとおりでございます。

次に、3月12日に実施した再募集による選考についてです。これは、当該学校で教育相談を受けた者のうち、2月9日の選考を欠席した者、この中には、インフルエンザ等の体調不良によって参加できなかった者、高等学校前期選抜を受検して不合格だった者が含まれます。それらの者を対象に、県立高等学校の後期選抜と合わせて実施しました。特別支援学校7校で14名が受検し、合格者が14名です。その内訳は、特別支援学校中学部からが5名、市町等の中学校からが9名となっております。

したがって、資料4ページにお示ししたとおり、高等部の合格者総数は、選考と再募集を合わせまして281名となっております。その内訳は、特別支援学校中学部からが115名、市町等の中学校からが166名でございます。

平成30年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要についての報告は、以上でございます。よろしくお願いいたします。

【質疑】

教育長

それでは、報告2については、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

—全委員が本報告を了承する—

・審議事項

報告3 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について (公開)

(山口生徒指導課長説明)

報告3 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について

三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について、別紙のとおり報告する。平成30年4月18日提出 三重県教育委員会事務局 生徒指導課長。

説明は小林子ども安全対策監から行います。

(小林子ども安全対策監説明)

めくっていただきまして1ページをご覧ください。三重県いじめ問題対策連絡協議会は、いじめの防止等に関係する機関・団体の連携を図ることを目的として、条例により設置しているところでございます。

今回、3名の委員に人事異動があり、それに伴い委員の任免を行いましたので、ご報告させていただきます。表にありますように、三重県警察生活安全部少年課長が前川課長から近藤課長に、津地方法務局の武田人権擁護課長から前野課長に、三重県子ども・福祉部の福井次長から野呂次長となりましたので、委員の任免を行ったものでございます。

ページをめくっていただいて、2ページ3ページに参考資料を付けております。国のいじめ防止対策推進法、県のいじめ防止基本方針、そして、本協議会の設置条例を

抜粋して載せてございます。

3 ページの本連絡協議会に関する県の条例の該当部分でございます。第3条、委員は15人以内となっておりますが、4 ページの一覧のように、現在、委員は14人でございます。第4条の第2項では、委員の任期は1年で、補欠委員の任期は、前任者の残任期間となっておりますので、現在の委員の任期は、昨年7月1日から本年6月30日までですので、今回、新たに任命した委員については、本年6月30日までの任期となります。平成30年7月1日から、次期委員につきましては、その時点で改めて報告をさせていただきます。

説明は、以上です。よろしくお願いたします。

【質疑】

教育長

それでは、報告3については、いかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する—

・審議事項

報告4 平成29年度全国高等学校選抜大会等の結果について (公開)

(野垣内保健体育課長説明)

報告4 平成29年度全国高等学校選抜大会等の結果について

平成29年度全国高等学校選抜大会等の結果について、別紙のとおり報告する。平成30年4月18日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

1 ページをご覧ください。本年3月末までに行われた全国高等学校選抜大会等の結果を掲載しております。まず、団体種目の結果です。四日市工業高校男子テニス部は、第40回全国選抜高校テニス大会において、3年ぶり、2回目の優勝を飾りました。続いて、三重高校女子ソフトテニス部は、第43回全日本高等学校選抜大会において、2年連続、3回目の優勝を飾りました。また、第90回記念選抜高等学校野球大会では、三重高校が準決勝に進出したことは、記憶に新しいところでございます。

1 ページ下段には、個人種目の結果を載せております。第40回全国選抜高校テニス大会では、県立四日市商業高校の吉岡さんが、女子シングルスにおいて、見事優勝されました。吉岡さんは、昨年度の全国高校総体で団体優勝したメンバーであり、今年本県で開催されるインターハイでも活躍が期待される選手です。

その他の結果については、一覧表をご覧ください。個人種目のベストエイト以上の入賞数は、延べ数で15種目でした。

以上でございます。

【質疑】

教育長

それでは、報告4については、いかがでしょうか。

岩崎委員

年々、上がってきているんですか。人数とか種目の範囲が広がったとか、そういうのはどうでしたか。

保健体育課長

昨年度は13種目の個人の入賞でしたが、今年は15種目でした。少しではありますが、夏のインターハイに向けていい形になってきていると思います。

教育長

ほかにいかがでしょう。よろしいですか。

—全委員が本報告を了承する—

・審議事項

議案第1号 三重県地方産業教育審議会委員の任免について（非公開）

徳田高校教育課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第2号 平成30年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について（非公開）

野口小中学校教育課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第3号 三重県総合博物館協議会委員の任命について（非公開）

山本社会教育・文化財保護課長及び辻上環境生活部文化振興課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第4号 三重県天然記念物紀州犬審査会審査員の任命について（非公開）

山本社会教育・文化財保護課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第5号 三重県天然記念物日本鶏審査会審査員の任命について（非公開）

山本社会教育・文化財保護課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。